



福祉 とさちょう

復刻版

昭和55年1月20日

社会福祉法人 土佐町社会福祉協議会

(電話 田井2-0480)

福祉のまちづくり特集号 豊かな郷土づくりを進めよう

~~~~~  
尽日春を尋ねて 春を得ず  
却ってあり 庭前一枝の梅  
~~~~~



ねたきり老人のヘルパー保健婦による入浴状況

福祉のまちづくりについて

社会福祉法人
土佐町社会福祉協議会
会長 亀井謙一

或る有名な哲学者が、

「人はパンのみに依つて、生きるものに非ず、
されどまたパンなくして生くるあたわず」と
云う言葉を残されました。

私共人間生活にとつて物と心、この両面の
調和こそ必要かくべからざるものであること
を痛感する次第であります。

取り分けそれは、福祉の領域、福祉の世界
に於て、更に必要であると思うのであります。
此の度「福祉のまちづくり運動」が吾が高
知県の福祉行政の重要な柱として提唱され、
昭和五十四年度から実施される事となりました。

このことは、物質面、経済面からの福祉も
さる事ながら、それにも増して、精神面から
の福祉へ

更に施設の面からの福祉も勿論のことなが
ら、それにも増して、人間性の豊かな、温か
い心と心のふれ合い、はだ膚とはだのぬくもりを
覚える様な在宅福祉へ、そして住民参加に依
る、地域福祉へ目を向けて、所謂ボランティア
活動の輪を拡大しつゝ、

地域に於ける恵まれない人々に、愛の手を

差し伸べ、福祉の光りを、あてて行こうとする運動であります。

高知県下五十三市町村の内、七ヶ所の市町村が、其のモデル地区として指定を受けることになり、昭和五十六年までの三ヶ年間に亘って、活動費を補助交付され、

所謂「福祉のまちづくり」を推進して行くこととなるのであります。

わが土佐町も、其のモデル地区に指定された訳であります。

それと併せて、人に対する思いやりの心、弱者に対するいたわりの心、そんな人間性のある子供を育てることも、現在の世相から判断して勿論必要であるとの見地から、「福祉教育協力校」として県社会福祉協議会から、森小学校が指定を受けました。これも福祉のまちづくりの一環であることは云うまでもありません。

この福祉のまちづくり事業は、土佐町の場合、土佐町社会福祉協議会が委属しました、所謂「福祉まちづくり推進協議会」に依って運営される事となるのであります。

始めての事業でもあり、其の目的達成は、この程左様に安易簡単なものではないと、想像されるのであります。

然し、福祉なくして政治なし、と云はれる程の今日の社会情勢を背景として、社会的弱者の論理を尊重し、弱者の立場に立って地域住民の理解と協力を何よりも必要とする訳であります。私共は一步でも、半歩でも福祉まちづくり運

動が前進し、町民お互いの隣人愛、人間愛の美しき花開くことを期待したいと思うのであります。

みんなが倅せになれる事を念願して、この運動を進めて行きたいと思うのであります。

弱い者が、倅せになれる世の中こそ本当の福祉社会であります。

町当局や町議会の皆さんの御協力、御支援は云うまでもありませんが、広く町民の皆さんの格段の御理解御鞭撻を重ねて、心より御願ひ申し上げ、福祉のまちづくりについて御報告を兼ね、御挨拶と致します。

昭和五十四年十一月二十日

土佐町長 西村勝 仲

福祉のまちづくりについて

町民のみなさん、謹んで新年をお祝い申し上げます。ご一家そろって健康で明るい新年のくらしが築かれまますよう祈念いたします。

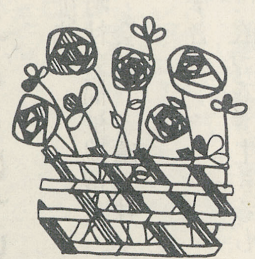
土佐町は昨年から三ヶ年を期間として、高知県福祉のまちづくりモデル町村として、トップグループの七市町村の中で指定されました。このまちづくりは行政や社会福祉団体と、町民一人一人の三者が一体となつての奉仕による日常活動の展開によつて、子供から老人まで恵れない不幸な条件にある方々の生甲斐や自立力に支えとなる行動参加によつて町の福祉を充実する

ものであります。ある雑誌の中で「戦後の私達日本の社会は要約して言うに神興をかついでアメリカの後をついてきたといえるところが、神興をかつぐころか要求ばかり多く、ぶら下がるばかりの依存意識の強い大衆が育つてしまった。このまま行けば典型的な衆愚政治に行きつく心配がある」(以下略)という記事があつた。福祉は基本的には公正平等に国の法律で保証する制度が確立されて、その制度上の福祉施策を善意に活用することが大切であつて、いやしくも濫用や悪用して福祉を食いものにしようとするものがあつては福祉の充実発展に共感を伴わなれないと思ひます。福祉のまちづくりは「求めるあたえよ」も必要でしょうが、「きづく福祉、そだてる福祉」いたわりと奉仕の福祉は私達の誠意と善意の心がけと行動で郷土の福祉づくりで成果をあげることが、福祉のまちづくり目的であるともいえましよう。

町民各位のご理解ある参加をお願い申し上げます。

土佐町社会福祉関係団体

代表者	窪内清彦
代表者	田原久吉
代表者	伊藤賢吉
代表者	石川栄市
代表者	小松俊彦



深めよう 心のふれあい、広めよう 幸せの輪

福祉のまちづくりを町民ぐるみで推進しよう



老人と子供の手をつなぐ運動
楽しい藁細工，南川校で



ひとり暮らし老人招待慰安旅行
阿波池田町，保養センターにて



子供会タコ揚げ大会の様様

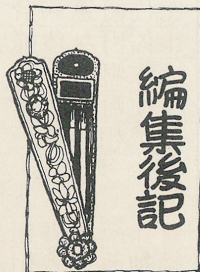


社会福祉協議会主催の子供会
ソフトボール大会，田井ジュニア優勝

土佐町人口に対する1月現在 老人の現況

土佐町総人口	6,633人
65才以上の老人	1,101人
在宅独居老人	85人
在宅ねたきり老人	28人

福祉のまちづくりモデル地区に指定されたことを機に、この特集号を作りました。日頃お世話になっていられる部落長さんにお願ひし、全世帯に配布します。今後共町民皆様方の温いご支援をお願い致します。



子供会キャンプ大会，お母さんも一緒に楽しい1日，相川川で

